

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制	学科 (コース・部)	電気科	募集定員 (予定)	40人
-----	-------------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

求める生徒像【令和7年度版】

○学校紹介

本校は、四年制の夜間に学ぶ定時制工業高校になります。勤労をいとわず、責任を重んずる態度を養い、社会に役立つ工業人を育成することを目標としています。働きながら学べる学校として、地域社会の発展の一端を担う役割も果たしています。多様な学習歴や進路希望をもった生徒の目標達成のため、共通科目の基礎基本の確実な定着を図り、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させます。そして、様々な問題を自ら考え合理的にかつ道徳心をもって判断できる力を身に付けさせ、工業教育を通して地域や社会に貢献できる人材を育成します。

○求める生徒像

工業への興味を持ち、学校生活の中で、自らの目標に向かって取り組むことのできる、次の1~5の項目に当てはまる生徒を求めます。

- 1 働きながら工業技術を学ぶことに、前向きに励む生徒
- 2 社会人として自立していくための、基本的生活習慣と社会ルールを守ろうとする意識が身に付いている生徒
- 3 中学校で自ら取り組んできた学習や活動を、入学後も継続する意欲のある生徒
- 4 電気・電子・情報に対する興味・関心があり、自ら電気実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組む意欲がある生徒
- 5 資格取得に積極的に挑戦するなど、将来は電気系の専門分野への就職を目指す生徒

第一次募集(選抜方法等)

選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる学科・コース	機械科	面接
共通選抜	4人 (募集定員の 10 %)	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1)志望動機・学習意欲 (2)基本的生活習慣・中学校生活 (3)生活・行動 (4)興味関心 (5)その他 4 観点 (1)態度 80点 (2)表現力等 43.5点
学力検査:調査書	3 : 7	※面接については、1日目に実施する。
	学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。	
特色選抜	36人 (募集定員の 90 %)	学校情報はこちら 学校ホームページ 公立高校ガイドブック  
上記「求める生徒像」の4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。		
I 配点		
1 調査書	390点	
国語、数学、社会、英語、理科	: 全学年の評定を2.0倍にする	
音楽、美術、保健体育、技術家庭	: 全学年の評定を4.0倍にする	
2 学力検査	125点	
国語、数学、社会、英語、理科	: 得点を0.25倍にする	
3 面接	515点	
<合計>	1030点	
II 選抜方法		
<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の120%の範囲に含まれる者(43人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 		
III 社会人特別選抜:有		
<ul style="list-style-type: none"> 学力検査を免除し、面接を実施する(面接については学校へ問い合わせること)。 		

第二次募集(選抜方法等)

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書	390点
国語、数学、社会、英語、理科	: 全学年の評定を2.0倍にする
音楽、美術、保健体育、技術家庭	: 全学年の評定を4.0倍にする
2 学力検査	200点
国語、数学	: 各教科100点満点
3 面接	4段階評価(A~D)
<合計>	590点
II 選抜方法	
上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	
	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1)志望動機 (2)中学校生活 (3)入学後の生活 (4)その他 4 観点 (1)態度 (2)表現力等

学校名	宮城県古川工業高等学校	課程	定時制	学科 (コース・部)	機械科	募集定員 (予定)	40人
-----	-------------	----	-----	---------------	-----	--------------	-----

求める生徒像【令和7年度版】

○学校紹介

本校は、四年制の夜間に学ぶ定時制工業高校になります。勤労をいとわず、責任を重んずる態度を養い、社会に役立つ工業人を育成することを目標としています。働きながら学べる学校として、地域社会の発展の一端を担う役割も果たしています。多様な学習歴や進路希望をもった生徒の目標達成のため、共通科目の基礎基本の確実な定着を図り、工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させます。そして、様々な問題を自ら考え合理的にかつ道徳心をもって判断できる力を身に付けさせ、工業教育を通して地域や社会に貢献できる人材を育成します。

○求める生徒像

工業への興味を持ち、学校生活の中で、自らの目標に向かって取り組むことのできる、次の1~5の項目に当てはまる生徒を求めます。

- 1 働きながら工業技術を学ぶことに、前向きに励む生徒
- 2 社会人として自立していくための、基本的生活習慣と社会ルールを守ろうとする意識が身に付いている生徒
- 3 中学校で自ら取り組んできた学習や活動を、入学後も継続する意欲のある生徒
- 4 機械の原理やしくみに対する興味・関心があり、自ら製作実習や実験の作業に安全かつ積極的に取り組む意欲がある生徒
- 5 資格取得に積極的に挑戦するなど、将来は機械系の専門分野への就職を目指す生徒

第一次募集(選抜方法等)

選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	面接・実技・作文のうち実施するもの
第2志望とすることができる学科・コース	電気科	面接
共通選抜	4人 (募集定員の 10 %)	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1)志望動機・学習意欲 (2)基本的生活習慣・中学校生活 (3)生活・行動 (4)興味関心 (5)その他 4 観点 (1)態度 80点 (2)表現力等 43.5点
学力検査:調査書	3 : 7	※面接については、1日目に実施する。
	学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は3:7とする。	
特色選抜	36人 (募集定員の 90 %)	学校情報はこちら 学校ホームページ 公立高校ガイドブック  
上記「求める生徒像」の4及び5のいずれかに当てはまる生徒を重視します。		
I 配点		
1 調査書	390点	
国語、数学、社会、英語、理科	: 全学年の評定を2.0倍にする	
音楽、美術、保健体育、技術家庭	: 全学年の評定を4.0倍にする	
2 学力検査	125点	
国語、数学、社会、英語、理科	: 得点を0.25倍にする	
3 面接	515点	
<合計>	1030点	
II 選抜方法		
<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点及び面接の得点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する36人の120%の範囲に含まれる者(43人)を対象として行う。 学力検査点、調査書点及び面接の得点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。 		
III 社会人特別選抜:有		
<ul style="list-style-type: none"> 学力検査を免除し、面接を実施する(面接については学校へ問い合わせること)。 		

第二次募集(選抜方法等)

I 配点	面接・実技・作文
1 調査書	390点
国語、数学、社会、英語、理科	: 全学年の評定を2.0倍にする
音楽、美術、保健体育、技術家庭	: 全学年の評定を4.0倍にする
2 学力検査	200点
国語、数学	: 各教科100点満点
3 面接	4段階評価(A~D)
<合計>	590点
II 選抜方法	
上記Iを基に、総合的に審査し、選抜する。	
	I 面接 1 形態 個人面接 2 時間 15分程度 3 内容 (1)志望動機 (2)中学校生活 (3)入学後の生活 (4)その他 4 観点 (1)態度 (2)表現力等